

大山川の夏

新木津用水との交差 「運天」

自然河川の大山川は小牧市二重掘で人口河川の新木津用水と交差する。

新木津用水は **350 年前に完成**した灌漑用水であるが、この地点で**大山川の下を潜り**、下流の春日井方向へ流れている。左側が新木津用水、右側が大山川である。新木津用水の一部が大山川へ音を立てて滝の様に流れ落ちている。

昔は樋門のところで杵守が大山川へ流れる水量を調整していたので、「**運天**」と呼ばれたところである。樋門の上流は流れがゆるやかで天然プールのようにっており格好の水遊びの場であった。

*小牧叢書（小牧の川・用水）を参考にしています。

左が新木津用水

右が大山川



新木津用水は犬山城の近くから木曾川の水を導入し農業用水として春日井地域まで利用されている。

この地域には木津用水、新木津用水、入鹿用水等が流れている。昭和 36 年に通水を開始した愛知用水は知多半島の先端まで流れている。用水の他に名古屋市の水道も犬山から名古屋市へ供給されている。

日本では水と空気はタダの様に思われているが、これらの用水は先人達の大変な叡智と労苦の恩恵を受けていることを忘れてはならない。



大山川を潜った新木津用水は春日井へ流れている

